

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校武蔵野ファッションカレッジ		昭和51年10月1日	須澤 麻紀	〒 1710022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人後藤学園		昭和25年9月22日	後藤 人基	〒 171-0022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6152			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
服飾・家政	服飾専門課程	アパレルプロフェッショナル科	平成21(2009)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	ファッションの専門知識と技術、そして、変遷するファッション業界において、順応できる幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献が出来る人材育成						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ファッションビジネス能力検定3級 Styling Mapトータルスタイリスト検定 パターンメイキング技術検定3級						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位数、単位いずれかに記入	1,935 単位数時間 71 単位	225 単位数時間 単位	0 単位数時間 0 単位	1,710 単位数時間 単位	0 単位数時間 0 単位
	夜間						
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
70人	43人	2人	5%				
就職等の状況	■卒業生数(C)		19	人			
	■就職希望者数(D)		11	人			
	■就職者数(E)		9	人			
	■地元就職者数(F)		9	人			
	■就職率(E/D)		81	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		100	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		47	%			
	■進学者数		6	人			
	■その他						
	進学者数: 6名		(令和4年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		有				
	※有の場合、例えば以下について任意記載		評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 受審年月: 平成28(2016)年10月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/				
当該学科のホームページURL	https://www.musashino-fashion.ac.jp/course/apparel_professional/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数	1,935 単位数時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	90 単位数時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間					
	うち必修授業時数	1,845 単位数時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	90 単位数時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位数時間					
	(B: 単位数による算定)						
	総授業時数	71 単位					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	3 単位					
	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位					
	うち必修授業時数	68 単位					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	3 単位					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	2 単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		8人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人				
	計		8人				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		4人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によって、ファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門学校武蔵野ファッションカレッジにおいて、専門的且つ、実践的な職業教育を実施するために、企業との連携を通じて必要な情報収集、分析を行い、授業の内容や手法の改善、カリキュラムおよびシラバスの策定を行うこととする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
杉野 公子	東京家政大学 准教授	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	②
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
須澤 麻紀	本校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
松山 由未	本校 教務部 教務課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
三枝 壘	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
田中 日菜子	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和5年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
折笠 仁美	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月・3月頃)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年10月5日(水) 15:00～16:30

第2回 令和5年3月3日(金) 13:00～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コンピューターグラフィックス以外にエクセル・ワード・パワーポイントなど、ビジネスでのPC基本操作の授業を導入した。
『デザイン画1・2』では授業内での提出用紙サイズはB4とし、大きな画面で訓練を重ねることにより熟達に繋げていく。
さらに『クリエイションワーク1～3』『コンテストコーチング』等の授業で描画・表現力の向上を目指す。アイテムの形状や素材感の理解のために『パターンメイキング』『ファッションマテリアル』等の授業と連携して取り組む。
『プレゼンテーション』では、より実践的なスキルとして、PCでの資料作成を学べる枠組みを構築している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ、且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼節も身につけることとする。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記		
1. 『クリエイションワーク3』 ムードボードの作成を通して、個々のオリジナリティやクリエイションと向き合う。表現力を養うとともに、自身のキャリアプランも見つけ直していく。学習成果に対する評価は企業側が行う。受講姿勢、創造性、完成度などの観点から科目成績を出し単位の取得とする。 連携企業「株式会社TEN10」		
2. 『パターンメイキング4』 テーラードジャケットの製図法と工業用パターンの作成方法を習得する。学習成果に対する評価は企業側が行う。受講姿勢と理解度・習熟度の観点から科目成績を出し単位の取得とする。 連携企業「室谷企画」		
3. 『スタイリングマップ1』 色・形・質感の分析と分類、キーワードによるイメージとテイスト表現の理論と演習。 ワークシートの完成度、小テストによる知識習得度のチェック、受講姿勢と理解度の観点から科目成績を出し単位の取得とする。 連携企業「株式会社エーツー」		
4. 『ビジネスコミュニケーション』 1) 社会を知る(時代や社会状況) 2) 相手を知る(企業や消費者・顧客) 3) 自分を知る(自己)を、ワークショップ・プレゼン・ビジネス最前線に関する試聴・リサーチを通じて得ていく。「情報活用スキル」の実践をしていく。 連携企業「株式会社アントルビーンズ」		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
クリエイションワーク3	イメージを他者に伝えるための、ヴィジュアル表現テクニックとクリエイティブなまなざしを養う。	株式会社TEN10
パターンメイキング4	テーラードジャケットの工業用パターンの作成技術を修得する。	室谷企画
スタイリングマップ1	色とイメージ・テイスト表現の理論と知識習得と演習	株式会社エーツー
ビジネスコミュニケーション	「誰に(企業や消費者)」「何を(商品・サービス)」「どのように(方法・手段=コミュニケーション)」を明確にし、今後の成長計画に結びつける。	株式会社アントルビーンズ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持のため、『ファッション業界の実務研修』『指導方法向上の研修』『就職指導研修』を計画的に行い、職業教育の向上に努めている。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	『ミラノ・パリコレクションセミナー』	連携企業等: ファッション振興財団主催
期間:	2022年11月8日(火)	対象: 教務部
内容:	ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催『2023春夏ミラノ・パリコレクション速報』聴講	
研修名:	記念講演『人間にとってビーズとはなにか』	連携企業等: 渋谷区松濤美術館
期間:	2022年11月19日(土)	対象: 教務課
内容:	企画展: 国立民族学博物館コレクション『ビーズ』池谷和信氏 記念講演会 聴講	
研修名:	シンポジウム『ビーズからのメッセージーつなぐ・かざる・みせるー』	連携企業等: 渋谷区松濤美術館
期間:	2022年12月10日(土)	対象: 教務課
内容:	登壇者: 池谷和信氏(国立民族学博物館教授)、佐古孝子氏(ビーズ織作家)、中村香子氏(東洋大学教授)、川口幸也氏(元立教大学教授) 聴講	

②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 『芸術学演習 I-2 美術批評』	連携企業等： 京都芸術大学
期間： 2023年3月5日(日)	対象： 教務課
内容 「美術批評」というジャンルについての考察	
研修名： 『専門知識がなくてもできる文章指導』	連携企業等： 公益財団法人日本漢字能力検定協会
期間： 2022年10月31日(月)	対象： 教務課 就職担当者
内容 語彙・文法・資料分析・文章読解等、文章指導に関する専門学校教員対象のセミナー	
研修名： 『学校における合理的配慮の提供について』 臨床心理士 野町一成氏口	連携企業等： 学校法人後藤学園 法人事務局
期間： 2023年3月17日(金)	対象： 教務部 管理職
内容 法改正による「合理的配慮の提供」の義務化に対応した上で、誰にとっても学びやすい学校を目指す環境の整備	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 『芸術史講義(ヨーロッパ)1』	連携企業等： 京都芸術大学
期間： 2023年5月21日(日)	対象： 教務課
内容 ヨーロッパの造形芸術の成立から盛期ルネサンスまでの展開、造形的な特徴から考察	
研修名： 『ミラノ・パリコレクションセミナー』	連携企業等： ファッション振興財団主催
期間： 2023年11月7日(火)	対象： 教務部
内容 ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催『2023春夏ミラノ・パリコレクション速報』	
研修名： 『芸術論 I-3 芸術鑑賞1 日本・東洋』	連携企業等： 京都芸術大学
期間： 2023年7月21日(日)	対象： 教務課
内容 鑑賞と知識、作品の学術的な情報と観察力・論述と文章表現	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 『論文研究演習』	連携企業等： 京都芸術大学
期間： 2023年4月22日(土)	対象： 教務課
内容 資料分析・文章読解等、文章指導力の向上を目的とする。	
研修名： メンタルヘルス教職員研修(基礎研修)	連携企業等： 臨床心理士 神田亜弥子
期間： 2023年7月10日(月)	対象： 教務部
内容 発達障害・LGBTQに対する理解と対応	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針	
“専門学校に希求される教育活動、その他の学校運営について、継続的に改善を図り、教育内容の質の向上を目指す。自己点検・自己評価を実施することにより、学校の公共性を担保する。”	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	育成する人材像・将来的(中期的)構想・学校の特徴
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制度
(3) 教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化
(4) 学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価
(5) 学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携
(6) 教育環境	施設・設備の整備、学外学習、インターンシップ、海外研修等の教育体制
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性
(8) 財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守制、自己点検・自己評価の実施及び公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援
(11) 国際交流	—
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3) 学校関係者評価結果の活用状況	
SDGsに学園全体で取り組み、「社会の変化への対応」を考慮している本学の運営方針は、各委員の共感を得られている。学生募集の面での新たな施策も高く評価をいただいた。コロナ禍後の動向を注視しながら、まずは常勤教員で現行カリキュラムの適合性を検討した上で、学校関係者委員へ改訂の是非を問う。	

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業等委員
窪田 春花	川崎市立川崎高等学校	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	高等学校教員
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	卒業生
石木 賢二	株式会社Vowel	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業等委員
須澤 麻紀	本校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
松山 由未	本校 教務部 教務課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
箕輪雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
三枝 壘	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
田中 日菜子	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
折笠 仁美	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和5年8月10日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

公的な教育機関として教育活動や取り組み等の学校運営の全体状況を、誠実に積極的に整合性のある情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・校長 ・校訓 ・基本組織 ・事業報告書
(2) 各学科等の教育	・学科 ・教育研究上の目的 ・入学者の受け入れ方針 ・入学者数
(3) 教職員	・教職員の構成
(4) キャリア教育・実践的職業教	・就職支援 ・実践的職業訓練
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況
(6) 学生の生活支援	・学校支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金、納入時期等 ・就学支援、奨学金制度等
(8) 学校の財務	・財務情報 ・監事監査報告書
(9) 学校評価	・自己点検・自己評価報告書 ・学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和5年8月10日

授業科目等の概要

(服飾専門課程アパレルプロフェSSIONAL科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			クリエイションワーク1	クリエイションワーク1ではテーマからのイメージ表現、そのイメージを表現するファッションデザインを生み出すことを学びます。	1前	30	1	△		○	○		○		
○			クリエイションワーク2	形の無い物からの発想、歴史やトレンドをリサーチしてその結果としてのファッションデザイン。それぞれの課題のポイントをつかみ、内容にあったデザインを表現することを学びます。	1前	30	1	△		○	○		○		
○			クリエイションワーク3	イメージを他者に伝えるための、ヴィジュアル表現テクニックとクリエイティブなまなざしを養う。	1後	30	1	△		○	○			○	○
○			パターンメイキング1	スカート原型の作図法と、デザインスカートの展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング2	トルソー原型の考え方と展開方法、衿・袖の考え方と展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング3	パンツ原型の考え方と展開方法、ワンピースの展開方法を学びます。	1後	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング4	トルソー原型からジャケット原型へのゆとりの考え方。テーラードジャケットのディテールと工業用パターン作成方法を学びます。	1後	60	2			○	○			○	○
○			パターンメイキング5	パターンメイキングに関する基礎知識・技術を習得すると共に、パターンメイキング技術検定3級筆記試験の受験準備を兼ねます	1後	60	2			○	○			○	
○			アパレル技術1	生地地の直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いての縫製の仕様を学ぶ。	1前	30	1			○	○			○	
○			アパレル技術2	基本的なスカートのシルエットに対しての生地選び方。基本的なスカートの構造の理解。基本アイテム(スカート)の縫製を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			アパレル技術3	シャツブラウス・パンツの構造理解。基本アイテム(シャツブラウス・パンツ)の縫製を学び、効率良い縫製手順を身につけます。	1前	60	2			○	○			○	
○			アパレル技術4	ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルシャツブラウスでは個々のデザインに合わせてスケジュール立て製作します。	1後	60	2			○	○			○	
○			アパレル技術5	基本アイテムテーラードジャケットの縫製技術を習得し、裏地、芯、副資材について学びます。	1後	120	4			○	○			○	

○		立体裁断 1	地の目に対しての理解と、ピン打ちなど、基本的な立体裁断技術の習得。立体裁断による原型作成。スカートの立体表現。	1 前	30	1				○	○					○
○		立体裁断 2	『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。基本的な身頃のゆとりの入れ方の理解。デザインブラウスの練習。	1 後	30	1				○	○					○
○		デザイン画 1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1 前	30	1	△			○	○					○
○		デザイン画 2	デザイン画 1 で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1 前	30	1	△			○	○					○
○		スタイリングマップ 1	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1 前	30	2	○				○					○ ○
○		ファッションマテリアル 1	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1 後	30	2	○				○					○
○		ファッションビジネス 1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1 前	30	2	○				○					○ ○
○		ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事です。ビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図ります。	1 後	30	2	○		△	○						○ ○
○		コンピュータグラフィックス 1	Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1 前	30	1				○	○					○
○		incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1 後	30	1				○	○					○
○		プレゼンテーション 1	自分の考えをまとめ、伝えていく練習や、発表内容に説得力を持たせる手法を実習を通して身につけます。	1 通年	30	1				○	○					○
○		コレクションセミナー 1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演も行います。	1 通年	15	1	○				○					○ ○ ○
○		マーケットリサーチ 1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識と情報を蓄積します。	1 通年	30	1				○		○	○			
○		イベントプロデュース 1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1 通年	60	2				○	○					○
○		リクルートガイダンス 1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1 後	30	2	○				○					○ ○
○		デザイン画 3	デザイン画 2 で習得した技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1 後	30	1				○	○					○

○	コンピュータグラフィックス2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1後	30	1					○	○	○		
	○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1通年	30	1				○	○	○		
	○	モデルウォーキング1	incubate collectionでのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	1後	30	1				○	○		○	
	○	キャンパスサポート1	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話が出来る接遇力を高めます。	1通年	30	1				○	○	○		
○		デザインクリエーション1	期間限定ショップ用商品デザインです。販売時期やトレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。(企画案1)	2前	30	1	△			○	○	○		
○		デザインクリエーション2	ファッションショー用デザインです。トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。	2前	30	1	△			○	○	○		
○		デザインクリエーション3	学園祭で行う卒業コレクションで発表するデザインです。2年間の集大成として、トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出します。	2後	30	1	△			○	○	○		
○		クリエーションパターン1	デザインクリエーション1で製作した期間限定ショップに向けての商品用パターン製作です。商品として必要な機能性を考慮したパターンを製作します。	2前	60	2				○	○	○		
○		クリエーションパターン2	デザインクリエーション2でデザインしたファッションショー用作品のパターン製作の授業です。(トワルチェック・修正)	2後	60	2				○	○	○		
○		クリエーションパターン3	デザインクリエーション3でデザインした卒業製作課題のパターン製作の授業です。	2後	30	1				○	○	○		
○		モデリング1	期間限定ショップ用商品製作課題です。クリエーションパターン1で製作されたパターンを使っての作品製作です。	2前	90	3				○	○	○		
○		モデリング2	ファッションショー作品製作課題です。クリエーションパターン2で製作されたパターンを使っての作品製作です。	2後	90	3				○	○	○		
○		モデリング3	学園祭で発表される卒業作品製作課題です。クリエーションパターン3で製作されたパターンを使っての作品製作です。	2後	60	2				○	○	○		
○		立体裁断3	袖や襟のディテール表現や柔らかいドレス表現のドレーピング技術を学びます。	2前	30	1				○	○	○		
○		CAD1	CADの基本操作理解。	2前	30	1				○	○		○	
○		CAD2	CADの基本操作理解。マーキング、グレーディング操作の習得	2前	30	1				○	○		○	

	○	キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話ができる接遇力を高めます。	2 通 年	30	1				○	○		○		
	○	コレクションスタッフ	incubate collection 実施のための準備・運営をおこないます。	2 後	30	1				○	○		○		○
合計					62 科目			101 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1935時間以上・71単位以上取得		1学年の学期区分	2期
履修方法：課題提出や試験、受講姿勢による総合評価		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。